



尾久八幡

令和6年度 9月号
令和6年9月2日発行
荒川区立尾久八幡中学校
校長 稲葉 裕之

この夏、各方面で活躍した八幡中生を紹介します！

夏休みは、時間的な制約も少ないため、練習試合や施設見学、地域行事への参加など、学期中よりも多様な活動が可能な期間です。そこで、本校生徒がこの夏休みに行った活動を紹介します。

(詳細は、HPまたはスクリレに掲載しました)

I 吹奏楽部 東京都吹奏楽コンクール 金賞受賞 8/7(水)

第64回東京都中学生吹奏楽コンクールが、今年「練馬文化センター」を会場に行われ、本校吹奏楽部は、日程最終日8月7日(水)、「東日本部門」に出場しました。結果、今年も金賞をいただくことができました。おめでとうございます。惜しくも今回は東日本吹奏楽大会への代表は逃しましたが、これまでの練習の成果を生かし、素晴らしい演奏をしてくださいました。吹奏楽部のみなさん、お疲れさまでした。



II 卓球部 都大会突破、関東大会進出 8/8(木)

7月に行われた東京都大会で、女子団体は、準々決勝で敗れたものの関東大会出場決定リーグで全勝、結果、東京都5位、関東大会に進出することができました。ALSOKぐんまアリーナでの関東大会では第1ステージ(予選リーグ)敗退となりましたが、強豪校を相手にのびのびと試合をしてくださいました。今回のメンバーは入学してから本格的に卓球を始め、本校卓球部の練習の中で切磋琢磨し、その結果勝ち取った関東大会出場でした。



Ⅲ 地域町会 祭礼行事 参加 8月4日(日)

本校のある西尾久三丁目宮元町会からお誘いいただき、祭礼行事「子供御神輿巡行」に参加しました。8月4日、まずは、巡幸 宮出しに参加、その後、町会御神輿が出発、1時間半ほどかけて町内を一周しました。途中、休憩の度に冷たい飲物やあんパン・アイスなどのおやつをいただき、疲れも暑さも吹き飛ばしました。参加させていただき、日本文化に触れたり、地域の方々といっしょに取り組む楽しさを感じたりと、日頃できないような経験・体験をすることができました。



ご指導・ご配慮いただきました地域の皆様、ありがとうございました。

Ⅳ 美術部 芸術鑑賞会「デ・キリコ展」見学 7月26日(金)

7月26日(金)、美術部は、上野にある東京都美術館で開催されている「デ・キリコ展」に行ってきました。油絵やデッサン、彫刻など様々な表現に触れ、作品が放つ力を感じながら真剣に見入っていました。実際に今描いている油絵に生かし、新たな表現に挑戦してみたくなったようです。日頃は学校を離れての活動は難しいなか、夏休みだからこそできる充実した時間を過ごすことができました。



Ⅴ JRC トレセン 参加 8月10日(土)~11日(日)

日本赤十字社東京都支部が主催する「JRCリーダーシップ・トレーニング・センター」に都内の私立・公立中学校合わせて14校から生徒が参加、本校からは、2年生 木下朝智 さんが参加してくれました。現地では、赤十字・国際人道法等の国際理解や災害学習、そして集団生活を通してのリーダーシップ実践体験が行われました。プログラムを進めるうちに打ち解ける中、JRC の態度目標である「気づき、考え、行動する」を、率先して行う生活体験に取り組みました。学校での宿泊行事とはまた違った有意義な経験をすることができました。



この夏休みは他にも、学校を通じて次のような活動に、本校の生徒が参加しました。

- ・プラチナ未来人材育成塾(東京都市大学) 8/8~8/10 1名参加
- ・区釜石市被災地訪問(岩手県釜石市) 7/29~30 2名参加
- ・区ワールドスクール(秋田県国際教養大学) 8/3~8/6 4名参加
- ・区子ども議会(荒川区議会議場) 8/27 2名参加

いづれも、学校生活とは違う環境・メンバーの中で、日頃できない新たな体験・経験をすることができたのではないかと思います。今後もこうした機会があれば、参加を希望していただきたいと思います。

実際の観察することで、生命の神秘を実感する機会となりました。

生命誕生の観察授業 7月5日(金)

本校では本年度、学校経営方針のひとつとして、「理科教育の充実」を掲げています。具体的には、学校パワーアップ事業を活用、実験・観察活動の充実、ICT機器の活用、「サイエンス講座」等外部講師の導入等に取り組むことにより、生徒の興味関心を高めながら、実体験を通して理解を深める学習活動を目指しています。



今回は、生命の連続性「生物のふえ方と成長」の授業として、ウニを材料とした観察授業を実施しました。日本財団「海と日本 PROJECT」のイベントの一環として、お茶の水女子大学 湾岸生物教育研究所が材料提供を行っている、全国一斉ウニの発生体験に参加し、ご提供いただいたウニの卵や精子を使って、未受精卵や受精卵の成長の様子を実際に顕微鏡で観察する実習授業でした。



7月5日(木)1~5校時を使い、3学年全クラスで授業を実施しました。はじめに、受精前の卵を顕微鏡で観察したあと、受精させてからの変化を、時間を追って観察しました。さらに受精後数時間経過した受精卵も事前に用意、それらと比較することで細胞分裂しながら成長していく様子を実際に見ることができました。そして、授業の終わりには、前日に受精させ、すでに泳ぎだしているウニの幼生も観察しました。

今回の学習活動では、教科書等での知識を、実際の観察により実感を持って体験することで、理解をより深めることにつながるとともに、生命の神秘を感じる機会となりました。こうした体験が、科学的な視点でモノをとらえる姿勢や、驚きや感動など科学を学ぶことへの興味・関心につながってくればと思います。この観察授業のために、貴重な教材をご提供いただきました お茶の水女子大学 湾岸生物教育研究所 様、本当にありがとうございました。

職場体験はもとより、将来の社会生活に生きるお話をいただきました。

2年生 マナー講座 7月12日(金)

本校では、外部人材の活用を積極的に行うことで、学習活動の充実を図っています。今回は、2年生向けの「マナー教室」の実施にあたり、学年の保護者の方のご紹介で、(株)ビックカメラ様より、総務人事部人財開発チーム 研修担当として研修トレーナーされている 佐々木浩一様にお越しいただきました。佐々木様は、長年、社員教育に携わってきこられる方です。



7月12日(金)3・4校時を使い、2学年一斉にアリーナにて、ご講義いただきました。内容は、主に接客、なかでも、単なる立ち振る舞いではなく、その考え方や心構えについて、お話いただきました。そのひとつとして、相手の立場になって考えることの大切さを強調されていました。これは、日頃の人との接し方にも通じるものであり、自分のことをただ伝えればいいのではなく、相手がどう受け止めるかを意識することも大事であると感じました。また、新たに何かに取り組む際、行動を変えるだけでなく気持ちを変える=自分自身で“心の構えをつくる”ことの重要性を繰り返しお話しされていました。格好だけやろうとしても上手くいかない、何かを成すには真摯さ・真剣さといった心の姿勢が必要だということだと感じました。熱のこもった迫力のあるご講演で、生徒も真剣な眼差しで聞いていました。



今回のご講演は、9月の事業所での職場体験に役立つ内容でした。しかしそれ以上に、それらは将来、社会に出て働き生活していく際にも大切なことであり、その人の生き方に関わるものが数多く語られていたように思います。ぜひ、みなさんには、これが自身の糧となるよう、今回の職場体験に、そして日頃の学校生活に活かして行ってほしいと思います。

貴重なお話をいただきました (株)ビックカメラ 佐々木浩一様、本当にありがとうございました。